



楽しかった修学旅行

班のめあて

平和について学び長崎の文化について知り規則を守り友達とのつながりを深めよう。

6年3組

2班

山王神社

山王神社は 明治元年（1868）創立。爆心地から南東約900mの高台にあり、社殿は原爆により跡形もなく崩れたが、昭和25年（1950）に再建された。

感想・筑紫の会の方の話からこの山王神社など原爆で跡形もなくなっても再建するのはあのおそるべき爆弾を忘れてはいけなそうという思いがあったからこそだと、筑紫の会の話も通して分かりました。 K・Y



山王神社の
入り口

浦上天主堂

浦上天主堂は爆心地の東北約500mの地点に建っています。この浦上天主堂の廃虚は広島原爆ドームとともに原爆の威力と悲惨さを物語る長崎の代表的な原爆遺跡として注目されてきました。

浦上天主堂の屋根が飛んできたから原爆の威力はとても強かったことがわかります。

浦上天主堂は新しく建てられ立派になっていることがわかります。

筑紫の会の方の話聞いて戦争と原爆はとてもこわいことということが改めて感じられました。 Y・M



山里小学校



山里小学校は1949年11月3日に建てられました。「あの子らの碑」は、病床にあった永井博士が生き残った児童の作文を「原子雲の下に生きて」として、出版しその印税によって、実現されました。筑紫の会の方のお話を聞いてこの学校を見学し、原爆の恐ろしさや悲しさを感じることができました。

防空壕の中はすごく広くてつながっていました。山里小学校には防空壕が20個以上あります。それでも防空壕の中で避難していても亡くなる人がいました。山里小学校の3人の先生は無事だったそうです。 H.Y

原ばく資料館

原爆資料館

原爆資料館には原子爆弾の模型があったりしました。爆弾の高さが約1メートルもあるのですごいなあと思いました。中には火薬がたくさん入っていたのですごいなあと思いました。原爆の重さが1トンもあるのですごいなあと思いました。筑原紫の会の話聞いて爆が落とされこわいなあと思いました。
K・A



原爆資料館では長崎に落とされた原爆模型がありました。それから原子爆弾のきのこ雲の様子を写した映像がありました。